

「その人がその人らしく生きていくことができる」 看護を心がけています。



独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター勤務

かも まりこ
加茂 真理子さん

平成25年3月
看護学部看護学科卒業

(佐賀県／佐賀西高等学校出身)



独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター

(大村市)

長崎医療センター6A病棟看護師長

稲田律子さん

現場からの声

4月から新人看護師として働く加茂さんは、とにかく“一生懸命”です。6月から夜勤が始まり、看護師として患者さんを受け持つ中で、一日一日専門職としての成長が感じられます。高度・複雑化する保健医療福祉活動に対応すべく知識を得るための努力を重ねています。また、患者さんに対しては笑顔と優しい言葉かけをしています。

常に患者さんの立場に立って「その人がその人らしく」という看護理念のもと看護することを意識して働いてくれています。

「その人がその人らしく」という理念のもと、 成長を実感できる毎日を送っています。

私は、現在長崎県大村市にある長崎医療センターで看護師として勤めています。当院は、地域医療に根差した高度医療の提供を目指しており、救急医療としてはドクターヘリも毎日活躍しています。私たち看護師は、「その人がその人らしく」という看護理念のもと、毎日看護を行っています。看護師は、24時間患者さんを見守り、患者さんの心身の観察だけでなく、時には患者さんの代弁者として他職種や家族との連携を図っており、患者さんにとって一番身近な存在であると思います。私が看護師として働き始めて、もうすぐ1年が経とうとしています。看護師という職業は楽しいことばかりではありませんが、患者さんの笑顔や「ありがとう」の言葉、元気に退院される姿に大きな喜びを感じることができます。教育体制が整っている環境の中で、優しい先輩と共に成長していきける同期に囲まれて、充実した毎日を送ることができます。



活水女子大学での学びが、今でも心の中に 息づき、日々の業務に活かされています。

私は入学当初、養護教諭になりたいという思いを抱き活水女子大学へ入学しました。看護師免許だけでなく保健師・養護教諭（申請により）の受験資格を得ることができたという理由からです。私は、活水女子大学で看護について学びを深めていく中で、「生命の大切さ」「その人がその人らしく生きていくことの大切さ」を学びました。講義の中で一番印象に残っていることは、「その人の生き方を最大限に尊重し、その人に寄り添った看護を行う」ということです。活水女子大学での講義やチャペルでの学びを通して、看護は患者さんの心身の観察を行ったり、治療をするだけでなく、その人がその人らしく生きていけるように援助することなのだとこのことを学びました。また看護は、生命の安全が最優先であるということも学びました。そして、養護教諭として学校（地域）看護の場で働く前に、まずは人間の生命に関わる実践的な看護を学び、看護の技術や知識を臨床で学びたいと思うようになりました。そして、私は今、看護師としての道を歩んでいます。活水女子大学は、新たな自分の夢を発見できる、そのような大学です。

様々な体験で、 自分の目を開かせてくれる 活水女子大学。

活水女子大学における魅力は、何と言っても学べる環境が揃っているということだと思います。活水女子大学は、長崎医療センターと隣接しており、臨地実習では全面的な支援を受けることができます。活水女子大学の特性の一つである災害看護は当院と一緒に実習を行うことができます。近年、震災等により災害看護について学ぶことは非常に身近なものとして捉えられています。当院は、東日本大震災においてD-MATを派遣する等、災害看護にも力を入れています。そのような病院と連携して実習が行えることは看護学生であった私にとってとても刺激的な実習でした。実際にトリアージを学び、看護師と医師や他職種との連携を学ぶことができました。

また、活水女子大学のもう一つの特性である国際看護は、私の学生生活の中でも大きな思い出の一つです。短期間ではありますが、オーストラリアにおける看護の実際を学びました。留学期間中のホームステイ先では、ホストファミリーと観光をしたり、ショッピングをしたり楽しい時間を過ごすこともできました。



支えてくださる先生がいて、 一緒に頑張れる仲間がいる、 かけがえのない母校。

そして、何と言っても看護学生にとって一番の思い出は臨地実習と看護師・保健師の国家試験だと思います。4年間、実習や課題に追われ、逃げ出したくなることもありました。しかし、そんな時一緒に頑張っている仲間がいて、親身になって相談に乗ってくださる先生方が私の学生時代を支えてくれました。当時は、辛くてきつかった思い出も、今は本当に一つひとつが大切な思い出です。活水女子大学は、素敵な仲間や先生方に出会えた素敵な母校です。

入学当初の私のように、看護に興味はあるけれど保健師や養護教諭という地域（学校）看護に興味を持っている方もたくさんいると思います。看護の勉強は、人体の構造から法律、地域における在宅看護や、学校保健など様々な分野があり、学ぶことは盛りだくさんです。看護といっても活躍する場はたくさんあります。活水女子大学は、自分の視野を広げることができ、なりたい自分の場所を探せる大学です。